

IRV-HV8000 シリーズ 導入時設定チェックシート

販売店、設置施工者留資料

この度は、弊社製品をお求め頂き大変ありがとうございます。
このチェックシートは、「IRV-HV8000 シリーズの初期導入時の基本となる設定をチェックする為のシートです。
お客様のご希望や各種条件に合わせ**順番に設定を確認**頂く事で、本機の機能を十分に生かす為の設定を行う事が出来ます。
このシートは本機の機能や働き、設定設置方法や手順を具体的に説明した「**マニュアル（取扱説明書）**」では**ございません**。
本機の取扱説明書は機器に付属しています CD-ROM 内に収められています。

紫文字 必要な場合にのみ変更して下さい。デフォルト値（初期値）のままご利用頂いても動作はしますが、設定によってより使い勝手や機能が向上する場合があります。

赤文字 より重要な内容や注意事項を表します。

注意 設定を行わなかったり誤った設定を行うと利用できなくなる機能やサービスを表します。

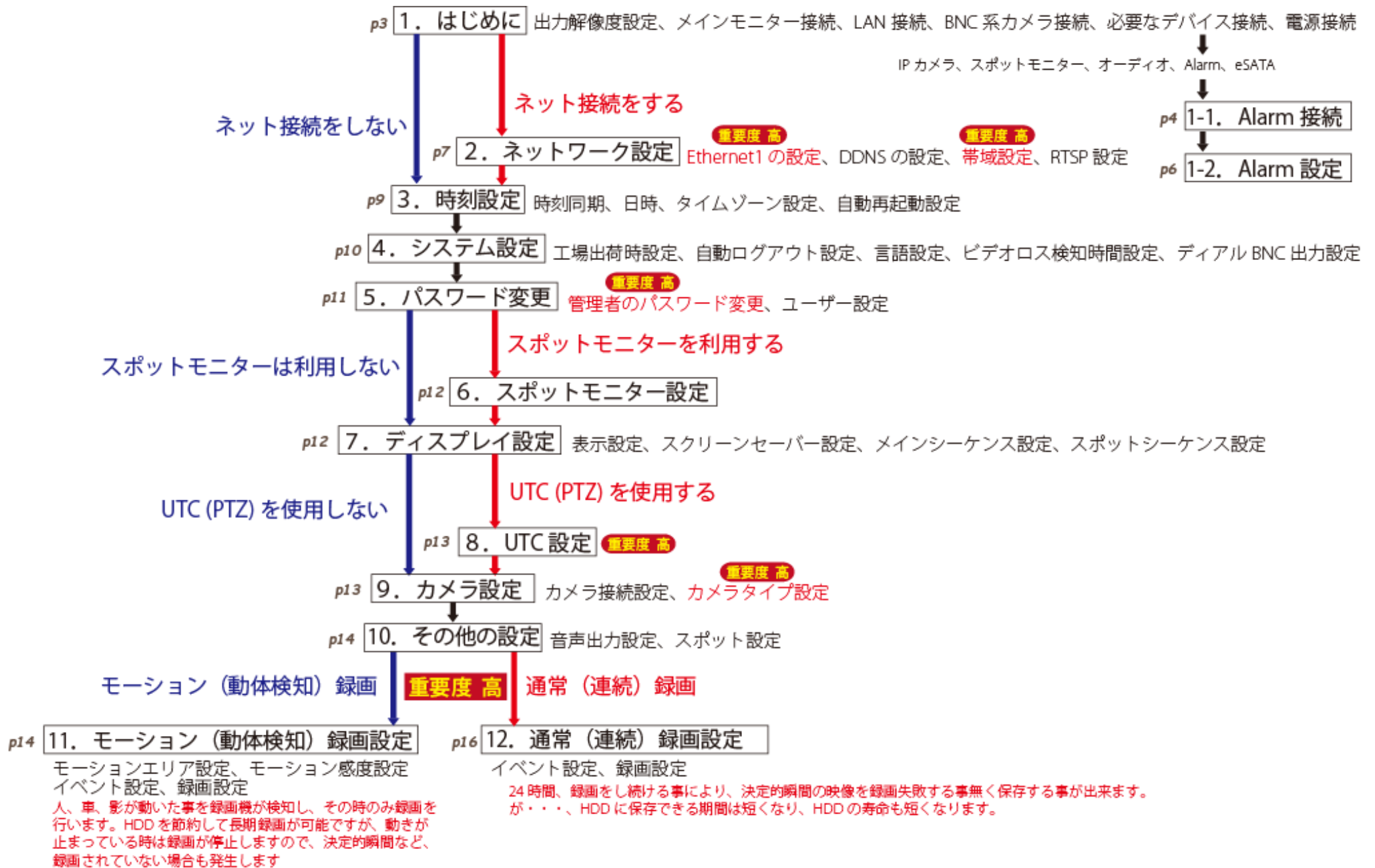
デフォルト（初期値）の数値や内容を表します。工場出荷設定（リセット）によってデフォルト値に戻りますが、一部弊社で初期設定を行っている項目も存在します。

その項目に対しての注意しなければならない内容を表します。

チェックボックスが**オン**（チェックされている場合） チェックボックスが**オフ**（チェックされていない場合）

オン 選択がオン（ON）**有効**な場合 **オフ** 選択がオフ（OFF）**無効**な場合

「**第1項目** → **第2項目** → **タグ選択** → 列項目選択 → **第2項目選択** → 内容」の順に表す



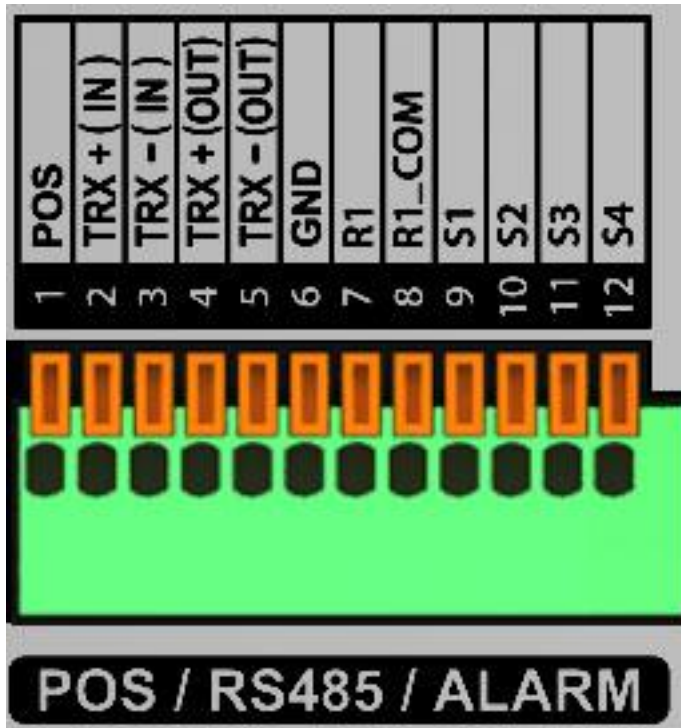
1. はじめに

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
出力解像度設定	Full HD (1920 x 1080)	リアパネルの白い2つのスイッチの上下の組み合わせにより、HDMI 及び VGA 端子に接続される メインモニター への出力解像度を設定します 設定内容は付属の取扱説明書をご参照下さい	接続しようとしているモニターの表示解像度に対応した設定にして下さい。 本機の設定を下回るモニターへは映像が映し出されません ここで言う“出力解像度”とは、本機の HDMI 及び VGA 端子に接続される メインモニターへ適用 されるものであり スポットモニターの出力解像度ではありません	
メインモニター接続		リアパネルの HDMI か VGA、またはその両方に 適応する解像度のモニター を接続します		
LAN ケーブル接続		ネット接続を使用する場合にのみ Ethernet1 (上段) に接続します	Ethernet2 (下段) に適切ではないネットワークを接続すると 本機を含む ネットワーク全体にトラブルが発生 します	
BNC 系カメラ接続		リアパネルの BNC 端子に AHD/TVI/CVI/CVBS カメラ を接続します		
必要なデバイス接続 必要な場合にのみ 接続して下さい	IP カメラ	ネットワーク経由の IP カメラ を使用される場合、上の「LAN ケーブル接続」ですでに接続は完了しています カメラポート接続の IP カメラ の場合、カメラポートへ IP カメラまたは IP カメラを接続する HUB を接続します。	ネットワークポート並びにカメラポートの仕組みや利用法、IP カメラの登録手順などは、本機付属の取扱説明書をご参照下さい	
	スポットモニター	スポットモニターは専用の物をお使い下さい。FHD SPOT には TVI の Full HD (1920x1080) モニターを、SD SPOT には CVBS 対応のモニターをそれぞれ接続して下さい		
	オーディオ	マイクを 8004/8008/8016 の場合は「A1~A4」、8032 の場合は「A1~A16」に接続した後ほど メニュー → 設定 → 録画 → 録画 → 音声記録 を オフ → オン にして下さい スピーカーを「AUDIO OUT」に接続します		
	eSATA ドライブ	録画用に 8004/8008/8016 で 1 台、8032 で 2 台の外付け eSATA ドライブが接続できます 弊社では接続可能な eSATA ドライブの情報は持ち合わせておりません eSATA ドライブのフォーマットなどの利用準備は、本機付属の取扱説明書をご参照下さい		
	Alarm	8004/8008/8016 でセンサー4、リレー1。8032 でセンサー16、リレー4 接続できます 弊社では接続可能なセンサー並びにリレーの情報は持ち合わせておりません。センサー並びにリレーを使用するには本機の設定が必要です。 次の Alarm 接続及び設定をご参照下さい		
電源		必ず 付属の電源アダプタ を使用して下さい。また本機付属の電源アダプタを 他の機器 に使用しないで下さい		

1 - 1 Alarm 接続

IRV-HV8004/8008/8016 の Alarm 接続

センサー及びリレーの本機の動作設定は、「p6 1-2 Alarm 設定」を参考頂くか、本機付属の取扱説明書をご参照下さい



1	POS	
2	TRX + (IN)	<予定機能> 何も接続しないでください
3	TRX - (IN)	
4	TRX + (OUT)	
5	TRX - (OUT)	RS422 / 485 インターフェースによる PTZ カメラの制御に使用します
6	GND	センサー入力（接点入力）の共通グランド端子
7	R1	アラーム出力用の無電圧接点出力
8	R1_(COM)	
9	S1	CH 1 のセンサー入力
10	S2	CH 2 のセンサー入力
11	S3	CH 3 のセンサー入力
12	S4	CH 4 のセンサー入力

▼PTZ カメラは、RS422/485 チャンネル 4 番 (TRX + (OUT)) に+ (プラス)、5 番 (TRX - (OUT)) - (マイナス) を接続します

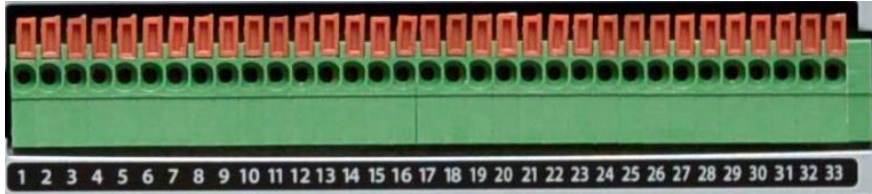
▼センサーは、各センサーチャンネル 9 番～12 番 (S1～S4) と、共通グランド 6 番 (GND) に接続してます

▼リレーは、リレーチャンネル 7 番 (R1) と 8 番 (R1_COM) に接続します

注意 弊社では接続されるセンサー並びにリレーの情報は持ち合わせておりません。接続センサー並びにリレー付属の取扱説明書をご参照頂くか取扱店にご相談ください

IRV-HV8032 の Alarm 接続

センサー及びリレーの本機の動作設定は、付属の取扱説明書をご参照下さい



- ▼PTZ カメラは、RS422/485 チャンネル 4 番 (TRX + (OUT)) に + (プラス)、5 番 (TRX - (OUT)) - (マイナス) を接続します
- ▼センサーは、各センサーチャンネル 8 番～11 番 (S1～S4)、15 番～18 番 (S5～S8)、22 番～25 番 (S9～S12)、29 番～32 番 (S13～S16) と共通グランド 12,19,26,33 番 (GND) に接続してます
- ▼リレーは、リレーチャンネル 6,13,20,27 番 (R1～R4) と 7,14,21,28 番 (R1_COM～R4_COM) に接続します

1	POS	<予定機能> 何も接続しないでください
2	TRX + (IN)	
3	TRX - (IN)	
4	TRX + (OUT)	RS422 / 485 インターフェースによる PTZ カメラの制御に使用します
5	TRX - (OUT)	
6.13,20.27	R1,R2.R3.R4	アラーム出力用の無電圧接点出力
7.14,21,28	R1_(COM),R2_(COM) R3_(COM).R4_(COM)	
8.9.10.11	S1.S2,S3,S4	CH1,CH2.CH3.CH4 のセンサー入力
15.16.17.18	R5,R6.R7.R8	CH5,CH6.CH7.CH8 のセンサー入力
22.23.24.25	S9.S10.S11.S12	CH9,CH10.CH11.CH12 のセンサー入力
29.30.31.32	S13.S14.S15.S16	CH13,CH14.CH11.CH12 のセンサー入力
12.19.26.33	GND	センサー入力 (接点入力) の共通グランド端子

注意 8 番～11 番 (S1～S4) に接続されるセンサーの GND は 12 番 (GND) に接続、15 番～18 番 (S5～S8) に接続されるセンサーの GND は 19 番 (GND) に接続、22 番～25 番 (S9～S12) に接続されるセンサーの GND は 26 番 (GND) に接続、29 番～32 番 (S13～S16) に接続されるセンサーの GND は 33 番 (GND) に接続されるのが理想的です。

弊社では接続されるセンサー並びにリレーの情報は持ち合わせておりません。接続センサー並びにリレー付属の取扱説明書をご参照頂くか取扱店にご相談ください。

1-2 Alarm 設定

A. 本機に発生する異常の原因を選択

メニュー → 設定 → システム → アラーム動作 → **アラームリスト** ビデオロス・HDD 満杯・HDD 未検出・ファン異常・HDD 異常・HDD 警告

B. 本機に何等かの異常の際の動作を選択

メニュー → 設定 → システム → アラーム動作 → **アラーム動作** オフ・ブザー・メール・**リレー**・ポップアップ表示・Push

C. アラームを送り続ける時間を選択

メニュー → 設定 → システム → **アラーム保持時間**

D. センサーのタイプ (NO/NC) 選択

メニュー → 設定 → カメラ → イベント → センサータイプ NO/NCの選択

NO (Normally Open = ノーマリーオープン) 通常は**跳ねれている**物が**つながった**場合

NC (Noemally Clause = ノーマリークローズ) 通常は**つながっている**物が**離れた**場合

H. センサーによる録面のオン/オフの設定

メニュー → 設定 → 録画設定 1~4 → 録画 → イベント → センサー **オン**/**オフ**の選択

I. センサーによるログ保存のオン/オフの設定

メニュー → 設定 → 録画設定 1~4 → 録画 → ログ → センサー **オン**/**オフ**の選択

J. センサーによる Push 通知のオン/オフの設定

メニュー → 設定 → 録画設定 1~4 → 録画 → Push 通知 → センサー **オン**/**オフ**の選択

K. リレーのタイプ (NO/NC) 選択

メニュー → 設定 → カメラ → イベント → リレー NO/NCの選択

L. イベントが発生した際のリレー動作のオン/オフを選択

メニュー → 設定 → 録画設定 1~4 → 録画 → アラーム → リレー **オン**/**オフ**の選択

2. ネットワーク設定

ネットワークの設定方法は同封の取扱説明書をご参照下さい

メニュー → 設定 → ネットワーク → Ethernet1 ネットワーク接続を行う場合には必要な設定です

注意 適切な設定を行わないと、遠隔接続などのサービスを利用する事が出来ません

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
DHCP	オン (黄色) <input checked="" type="checkbox"/>	遠隔接続を使用する場合はチェックを オフ (<input type="checkbox"/>) にし、IP アドレスなどの接続 情報を固定して下さい	DHCP サーバ機能を持つルータ と本機を接続した場合、サブネット マスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、DNS2 には自動で適切 なアドレスが設定されます。	
DNS	オン (黄色) <input checked="" type="checkbox"/>	DHCP のチェックをオフにしたタイミ ングで DNS のチェックもオフになりま す。内容が不正な場合は、適切な DNS アドレスを入力して下さい	基本は訂正の必要はありませんが、特殊なネットワークや DHCP 機能を持たないルータに接続している場合などは、手動で接続情報 を入力して下さい IP アドレスは他の IP デバイスと重複しないように、十分に注意し 割り当てして下さい	
クライアントポート	50100	必要な場合にのみ、変更して下さい	ルータの ポータフォワーディング (ポート開放) が必要です	
Web ポート	50101		Web ポートは工場出荷設定 (リセット) により 80 になります	

メニュー → 設定 → ネットワーク → DDNS ネットワークに接続し遠隔監視で DDNS サービスを利用する場合には必要な設定です

注意 適切な設定を行わないと、DDNS サービス「〇〇〇.powerddns.com」を利用する事が出来ません

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
DDNS	オフ <input type="checkbox"/>	DDNS サービスを利用する場合にのみ PowerDDNS を選択して下さい。もし有料の DynDNS のアカウントをお持ち の場合は “DynDNS” を選択し、接続情報を設定して下さい		
ドメイン名	MAC アドレス	PowerDDNS を選択した場合、任意で@より前 の名称を変更する事が出来ます 必要な場合にのみ、変更して下さい	ここで設定できる名称は、.powerddns.com を利用している 全世界が対象 となります。その為、他の利用者がすでに登録して いる名称は利用できません。重複の場合はエラーメッセージが表示 されますので、変更して下さい。	

メニュー → 設定 → ネットワーク → 帯域 遠隔監視を行う場合に必要な設定です

注意 適切な設定を行わないと、本機から送り出されるデータ量が制限され、遠隔映像の質が低下します

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
画像サイズ	CIF	本機から送り出される 画像サイズ を選択します CIF (サイズが小さい) → 4MP (サイズが大きい)	画像サイズ「4MP」・画質「高」の設定の場合、 遠隔映像は向上 しますが、ネット回線に流れるデータ量も膨大なものになり、ネットワークに与える負担も大きくなります。またプロバイダーとの契約内容によっては、注意が必要です	
画質	中	本機から送り出される 映像の質 を選択します 低 (悪い) → 高 (良い)		
帯域制限	制限なし	本機から送り出される データ量に制限 をかけます 必要な場合にのみ、変更して下さい	必要無い場合は 制限なし でご利用下さい	
送信コーデック	H.264	本機から送り出される 画像圧縮の方式 を変更します 必要な場合にのみ、変更して下さい	必要無い場合は H.264 でご利用下さい	
IPC ストリーム透過	オフ	IP カメラのストリーミング配信を利用する場合にのみ、 選択します 必要な場合にのみ、変更して下さい	必要無い場合は オフ のままご利用下さい	

メニュー → 設定 → ネットワーク → RTSP ネットワークに接続し RTSP 及び遠隔地録画機能を利用する場合には必要な設定です

注意 適切な設定を行わないと、RTSP 及び RTSP サービスを利用した遠隔地録画機能を利用する事が出来ません

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
RTSP Service Enable	オフ	RTSP サービス及び RTSP を利用しての遠隔地録画機能を利用する場合にのみ、チェックを オン (■) して下さい	必要無い場合は オフ のままご利用下さい	
RTSP ポート	8554 8555	必要な場合にのみ、設定して下さい	ルータの ポータフォワーディング (ポート開放) が必要です デフォルトで、チャンネル 1~16 までは“8554 ポート” チャンネル 17 以降は“8555 ポート”が表示されます	

3. 時刻設定 時計の設定方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい

メニュー → 設定 → 時間 → 時刻同期 ネットワークに接続している場合に設定すると便利な機能です

注意 本機がインターネットに接続されている場合、ネット上の時刻同期サーバ（NTPサーバ）に定期的に自動で接続する事で、レコーダーの時刻を常に正確なものに保つ事が出来ます。本機をインターネットに接続している場合は是非ご利用下さい

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
時刻同期	オフ	本機がインターネットに接続されている場合にのみ NTP を選択して下さい	本機がインターネットに接続されていない状態で“NTP”を選択（利用）すると、録画機内部の 時間が次第にズレ始めます	
サーバタイプ	NTP	時刻同期を NTP に設定した段階で表示されます デフォルトの NTP サーバを利用する場合は NTP 。ユーザー指定の NTP サーバを利用する場合は ユーザー設定 を選択します	ユーザー設定の NTP サーバが無い場合は NTP のままご利用下さい	
サーバアドレス	0.0.0.0	サーバタイプを ユーザー設定 に設定した段階で表示されます。ユーザー指定の NTP サーバ URL または IP アドレスを入力します		
修正 [回 / 日]	24 回	時刻同期（自動的に時計を合わせ作業）を 1 日何回実施 するかを設定します 1 日 1 回, 2 回, 3 回, 4 回, 5 回, 6 回, 2 4 回	本機の再起動や手動での電源オン時に実施される時刻同期は、この回数には含まれません	

メニュー → 設定 → 時間 → 日時 ネットワークに接続していない場合に定期的に設定が必要な機能です

注意 本機がインターネットに接続されていない場合、レコーダーの時刻合わせは**手動で定期的**に行う必要があります。

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容 / 注意事項	チェック
日時	おおよその日時	時刻同期が オン の状態では設定する事は出来ません。時刻同期を オフ にして設定を行って下さい	
日付表示形式	年 / 月 / 日	日時の表示形式を設定します。必要な場合にのみ、変更して下さい	

メニュー → 設定 → 時間 → タイムゾーン 必要な場合にのみ、変更して下さい

注意 弊社の出荷検査の段階で「GMT+09:00 東京 大阪 札幌」に設定されています。

工場出荷設定（リセット）により時刻変動はありませんが、地域が「GMT+09:00 ソウル」に変わります

メニュー → 設定 → 時間 → 自動再起動

注意 定期的にレコーダーを自動で再起動し開放する事で、安定した動作を維持し継続した連続使用を行う為の機能です。ご利用を強くお勧めします

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
自動再起動	オフ	自動再起動機能を有効にする場合は オン を選択します	自動再起動機能動作中、 約 40 秒～60 秒程度、録画が停止 します 再起動後、再び録画は開始されますが、ログオフの状態になりますので、パスワードを設定されている場合は、パスワード入力が必要となります	
再起動時間	00:00	自動再起動を オン にした段階で表示されます 自動再起動を実施する時間は 1 時間単位 で設定します		
繰返し	毎日	自動再起動を オン にした段階で表示されます 自動再起動の実施サイクルを毎日または指定曜日（週 1 回）から設定します		

4. システム設定

システム設定方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい

メニュー → 設定 → システム

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
工場出荷時設定		全ての設定が 工場出荷状態 に リセット されます。弊社で初期設定を行った設定も リセット されます。リセット後は言語が英語（English）に変わります。Language（言語）を日本語に設定して下さい 工場出荷時設定（リセット）を実行する場合は リセット をクリックします		
自動ログアウト	5分	必要な場合にのみ、変更して下さい	設定時間を超えると、パスワードを必要とする再ログインが必要となります	
言語	日本語	必要な場合にのみ、変更して下さい	工場出荷時設定（リセット）により、英語（English）に戻ります	
ビデオロス検知時間	1秒	必要な場合にのみ、変更して下さい	低い秒数で設定すると、特にネットワーク経由の IP カメラの場合、非常に敏感に検知しログが膨大に残ります 出来るだけ大きめの秒数の設定をお勧めします。	
ディアル BNC 出力	HD Spot + SD Spot	スポットモニターを接続しメインモニターとして利用する場合は変更して下さい	HDMI 及び VGA で接続されたメインモニターへの影響は何もありません。	

5. パスワード変更

パスワード変更方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい **ご利用を強くお勧めします**

A. 管理者 (admin) 及びユーザー (user1～user14) のパスワード変更

注意 特に**管理者 (admin)** のパスワード変更は**強くお勧めします**

メニュー → 設定 → システム → ユーザー設定 → ユーザー変更 → **admin または user1～user14**

B. ユーザーの利用制限登録 必要な場合にのみ、変更して下さい

メニュー → 設定 → システム → ユーザー設定 → ユーザー変更 → **user1～user14**

注意 管理者 (admin) は**パスワード入力以外、全て許可** (フルアクセス) となります。

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	チェック
ネットワークライブ表示	オン (公開する)	指定のユーザーに対し、 ライブ映像の公開／非公開 を設定します	
再生	オン (許可する)	指定のユーザーに対し、 プレイバック (再生) 機能の使用許可 を与えます	
バックアップ	オン (許可する)	指定のユーザーに対し、 バックアップ (保存データの抜取) 機能の使用許可 を与えます	
設定	オン (許可する)	指定のユーザーに対し、 録画機の詳細設定の使用許可 を与えます	
PTZ	オン (許可する)	指定のユーザーに対し、 PTZ (UTC) 操作に使用許可 を与えます	
リモートアップグレード	オン (許可する)	指定のユーザーに対し、 リモート (遠隔接続) によるアップデートの許可 を与えます	
パスワード	オン (求める)	指定のユーザーに対し、 パスワード入力 を求めます	
リモートアクセススケジュール	オフ (利用しない)	指定のユーザーに対し、 リモート (遠隔接続) 可能なスケジュール を設定します 全て、休日、平日、曜日を指定し、それぞれ開始と終了時間を8パターンまで指定できます 休日設定は メニュー → 設定 → スケジュール → 休日 から、 月単位 で行います	
カメラ表示	全て公開	指定のユーザーに対し、 公開するチャンネル (カメラ) を選択します	

6. スポットモニター設定

注意 スポットモニターを接続する場合は、以下に示す内容に適応した**専用のモニター**をご利用下さい

項目	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
FHD SPOT	ビデオフォーマットは TVI で、解像度は Full HD (1920 x 1080) です BNC コネクタを使用しています	TVI 対応の Full HD (1920 x 1080)以上 の解像度を有する BNC 入力が付いたモニターでしか表示する事が出来ません	
SD SPOT	ビデオフォーマットは CVBS で アナログ解像度 (640 x 480) です BNC コネクタを使用しています	CVBS (640x480)対応 の以上の解像度を有する BNC 入力が付いたモニターでしか表示する事が出来ません	

7. ディスプレイ設定

ディスプレイ設定方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい

メニュー → その他 → **ディスプレイ設定**

注意 必要な場合にのみ、変更して下さい

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	チェック
カメラ名称	オン (表示する)	メイン及びスポットモニター上への カメラ名称の表示/非表示 を設定します	
IP カメラ&再生解像度	オフ (表示しない)	メインモニター上への 解像度の表示/非表示 を設定します	
コントロールバー	オン (表示する)	メインモニター上への コントロールバーの表示/非表示 を設定します	
ボタン音	オン (なる)	本体操作音のオン/オフ を設定します	
HD 周波数	1080p60	HDMI 出力、VGA 出力、HD SPOT 出力の 1080p の際の 垂直周波数 を設定します	
境界線 表示	オフ (表示しない)	画面分割教示の際の 境界線の表示/非表示 を設定します	
境界線 幅	2 ピクセル	境界線表示を“ オン ”に設定した際に表示されます。 境界線の太さ を選択できます	
境界線 色	白	境界線表示を“ オン ”に設定した際に表示されます。 境界線の色 を選択できます	
スクリーンセーバー	オフ (使用しない)	HDMI、VGA に接続された メインモニターへのスクリーンセーバー機能 の設定をおこないません スポットモニター及びスポットモニターをメインモニターに切替えて使用した場合、いずれもスポットモニターではスクリーンセーバー機能は利用できません。【別設定あり】	
スポットシーケンス	5 秒	スポットモニターのシーケンシャル (シーケンス) 設定を行います。【別設定あり】	
メインシーケンス	5 秒	メインモニターのシーケンシャル (シーケンス) 設定を行います。【別設定あり】	

8. UTC 設定 詳細な設定方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい

注意 UTC 対応の BNC 系カメラを使用する場合、適切な設定を行わないと **UTC 機能** を利用する事が出来ません

同じ項目で、**PTZ カメラ** の設定を行う事も出来ます

メニュー → 設定 → カメラ → PTZ

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
プロトコル	なし	UTC を使用する場合は COAX_OSD を選択します 接続されるカメラの種類によっては COAX_PTZ 内の PELCO_C で動作する場合があります	弊社取扱い製品「AH200 / AT200 / AT400 シリーズ」での動作を確認しています。これ以外のメーカーやカメラでは対応外又は別設定になる場合がありますので、各メーカー及びカメラの取扱説明書をご覧ください	

9. カメラタイプ設定 詳しくは付属の取扱説明書をご参照下さい

メニュー → 設定 → カメラ → カメラ

項目	出荷時	注意事項	チェック
接続	オン	接続されたカメラを利用する場合、必ず オン の設定になっている必要があります。設定が オン の状態でカメラからの信号が確認されない場合、モニター上には ビデオロス の文字が表示されます。この文字を消したい場合は オフ に設定して下さい	
タイプ	自動	本機は接続されるカメラに対し 自動でカメラのビデオフォーマットを設定 しますが、カメラの種類や異なるビデオフォーマットのカメラを続けて連続して接続したりすると、本機の動作とカメラから出される信号のタイミングの差によって、本機のビデオフォーマットの自動認識機能が誤動作する場合があります。映像が映らない、白黒、ノイズが出るなどの現象が見られた場合は手でビデオフォーマットを切り替えて下さい	

10. その他の設定

その他の設定は、付属の取扱説明書の「その他のコントロール」をご参照下さい

メニュー → その他 → **その他のコントロール**

注意 必要な場合にのみ、変更して下さい

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	チェック
音声出力	CH 01	ライブ映像の分割表示の際、どの音声チャンネルを出力するかを選択します。	
スポット	1画面 シーケンス	スポットモニターへの映像表示形式を選択します 1画面シーケンスで、お好みのCH（カメラ）をお好みの順番で表示させたい場合、またシーケンス時間などは メニュー → その他 → ディスプレイ設定 → スポットシーケンス で詳細な設定は行えます	

11. モーション（動体検知）録画設定

詳細な録画設定方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい

注意 BNC系カメラを**接続後**に行う設定です

本機は**デフォルト状態**で**モーション（動体検知）録画設定がオン**になっています。モーション録画の詳細設定を行う場合、以下をチェックして下さい。

通常（連続）録画に設定を切り替える場合は、次の「12..通常（連続）録画設定」をご参照下さい。

A. “**モーションエリア**”と“**感度**”を設定 必要な場合にのみ、変更して下さい

メニュー → **設定** → **カメラ** → **イベント**

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
モーションエリア	210	モーション検知対象部分（モーションエリア）を横14マス×縦15マスから設定できます デフォルトでは全エリアが選択されています（210マス）		
モーション感度	最高	最高から最低まで5段階でモーション検知の感度を調整する事が出来ません	モーション感度が上がる（最高）と 感度が敏感 になり、目的の動き以外の物にも反応し録画点が増えます。あまり下げすぎると 感度が鈍く なりモーション録画されないまたは録画タイミングが遅くなる場合があります。環境に合わせて設定して下さい	

B. モーション録画の“オン”と“オフ” 必要な場合にのみ、変更して下さい

メニュー → 設定 → 録画 → 録画設定 1 → イベント

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
モーション	オン	モーション録画を使用する場合は オン に設定して下さい	通常（連続）録画を行う場合、 オフ に設定して下さい	

C. モーション録画の“画質”と“フレームレート” 必要な場合にのみ、変更して下さい

メニュー → 設定 → 録画 → 録画設定 1 → 録画

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
解像度		必要な場合にのみ、変更して下さい 接続されているカメラによって設定値が変わります	4MP 以上のカメラを接続した場合、自動で検出される解像度は 1080 までです。4MP 以上は手動で設定して下さい これらの設定によって、 録画保存期間に大きな影響 を与えます	
画質	高	必要な場合にのみ、変更して下さい 画質を最低～最高の 5 段階で設定する事が出来ます		
通常記録レート	オフ	必要な場合にのみ、変更して下さい モーション録画を行う際はデフォルトの オフ のままご利用下さい モーション録画と通常（連続）録画の組合せ録画の場合はお好みのレートに設定して下さい		
イベント記録レート		必要な場合にのみ、変更して下さい 接続されているカメラの最大フレームレートまたは本機で録画可能な最大フレームレートが表示されます		

12. 通常（連続）録画設定 詳細な録画設定方法は、付属の取扱説明書をご参照下さい

注意 BNC 系カメラを**接続後に行う設定**です

本機はデフォルト状態では**モーション（動体検知）録画**を行います。モーション録画の詳細設定を行う場合は「11.モーション（動体検知）録画設定」をご覧ください。通常（連続）録画を行う場合は**設定が必要**です。**デフォルトの状態では通常（連続）録画は使用できません**

A. モーション録画の**“オン”**と**“オフ”** 必要な場合にのみ、変更して下さい

メニュー → 設定 → 録画 → 録画設定1 → イベント

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
モーション	オン	通常（連続）録画を行う場合、 オフ に設定して下さい	モーション録画を使用する場合は オン に設定して下さい	

B. 通常（連続）録画の**“画質”**と**“フレームレート”** 必要な場合にのみ、変更して下さい

メニュー → 設定 → 録画 → 録画設定1 → 録画

項目	出荷時	ユーザー様で行って頂く内容	注意事項	チェック
解像度		<small>必要な場合にのみ、変更して下さい</small> 接続されているカメラによって設定値が変わります	4MP 以上のカメラを接続した場合、自動で検出される解像度は 1080 までです。4MP 以上は手動で設定して下さい これらの設定によって、 録画保存期間に大きな影響 を与えます	
画質	高	<small>必要な場合にのみ、変更して下さい</small> 画質を最低～最高の 5 段階で設定する事が出来ます		
通常記録レート	オフ	<small>必要な場合にのみ、変更して下さい</small> 通常（連続）録画の レート を設定して下さい 通常（連続）録画）とモーション録画の組合せ録画の場合はお好みのレートを設定して下さい		
イベント記録レート		<small>必要な場合にのみ、変更して下さい</small> 通常（連続）録画の場合は オフ を設定して下さい 通常（連続）録画とモーション録画との組合せ録画の場合はお好みのレートを設定して下さい		